

県内交通事故発生件数ワースト1の 国道14号幕張4丁目交差点の事故対策が完了します。

記者発表資料

平成19年に県内の交通事故の発生件数でワースト1となっていた国道14号幕張4丁目交差点の交通事故対策事業が3月19日に完了します。

当交差点は、周辺に大型商業施設等が隣接し、昼間12時間の歩行者の通行が約1万人、自転車は約8,000台を超え、自動車では約38,000台の利用が集中することから、過去4年(H16~19年)で80件の人身事故が発生しており、周辺の地域からも交差点の安全対策を望む声が寄せられていました。

歩行者や自転車利用者の安全性の向上等を目的とした、交差点をコンパクトにする改良工事を平成20年7月9日より実施してきました。

12月13日にコンパクトな交差点に生まれ変わり、2月までの3ヶ月間は、車両と歩行者、自転車が交錯する事故は発生しておりません。

今後は、交通事故の発生状況を追跡調査し整備効果を検証します。

千葉国道事務所では、千葉県内の交通事故対策事業として、事故が多発している交差点や事故の発生頻度の高い交差点での安全対策を今後も引き続き推進してまいります。

平成21年 2月27日(金)
国土交通省 関東地方整備局 千葉国道事務所

記者クラブ

竹芝記者クラブ	横浜海事記者クラブ	神奈川建設記者会
千葉県政記者クラブ	千葉市政記者クラブ	

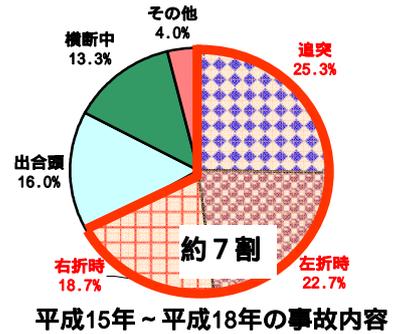
< 問い合わせ先 >

国土交通省 関東地方整備局 千葉国道事務所	電話043-287-0311(代表)
副所長 齊藤 厚	(内線205)
交通対策課 課長 岩崎 辰志	(内線471)

国道14号 幕張4丁目交差点改良

対策前

当該交差点は、速度超過に起因する **追突事故(約3割)**、走行する自転車等との接触による **左折事故(約2割)**、交差点が大きいために歩行者・自転車と遭遇する確率が高いことに起因する **右折事故(約2割)**、の割合が多くなっており、交差点事故の**約7割**を占めています。



着手前



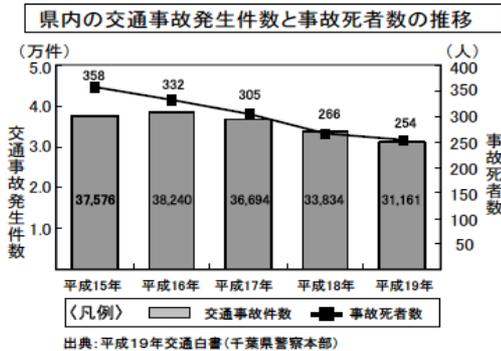
平成21年2月 コンパ外に改良した後



今回の工事（交差点のコンパクト化等）により期待される効果は、歩行者が交差点を横断する距離を短縮し、右左折の車両と歩行者の交錯を防止、信号待ちの右折車両を中央部に常時滞留させない形状に改良し、車両の追突を防止、自転車の走行位置を明確にし、車両との交錯を防止、路面標示をわかりやすく表示、視認性を向上させ、交通を円滑化

千葉県交通事故の現状

平成15年から5年間で約18万件的交通事故が発生し、約1,500人の尊い命が失われています。これまでの5年間で、1日で約100件の交通事故が発生し、毎日約1人の命が失われていることとなります。



様々な方々のご協力で、年々、交通事故、事故死者数は減ってきていますが、これからも安全への取組みが不可欠です。

多発する幹線道路での交通事故

交通事故の多くは、国道等の幹線道路に集中しています。幹線道路の交差点改良や歩道の整備等により、交通安全対策を実施する必要があります。

県内の交通事故多発交差点(ワースト5)

順位	市町村	路線	交差点名	人身事故件数(H19年) <small>(※物損事故除く)</small>
1位	千葉市	国道14号	幕張4丁目	(18)
2位	市川市	国道14号	西消防署前	(16)
3位	市川市	国道14号	市川広小路	(12)
4位	柏市	国道6号	呼塚	(11)
5位	千葉市	国道14号	千葉西警察署前	(10)

出典：千葉県警ホームページ

【当該交差点の昼間12時間の通行量】

- 歩行者 9,580人
- 自転車 8,048台
- 自動車 38,276台